

○レジ袋の無料配布廃止と「とやまエコ・ストア制度」

(生活環境文化部 環境政策課)

富山県が2008年4月に開始した「レジ袋無料配布廃止」は、県単位では全国初の取り組みでしたが、現在は全国に広がっており、本県の取り組みを参考に本年7月から全国一律でレジ袋有料化が開始されることとなりました。県内では、取り組み開始前は10~20%だったマイバッグ持参率は、現在は95%と高い水準を維持しています。

この取り組みの成功を受け、さらなるエコライフの拡大を図るため、「とやまエコ・ストア制度」を創設しました。

レジ袋無料配布廃止だけでなく、店舗で資源回収を行ったり、店内の空調を適温に設定したりといったエコな取り組みを行う小売店舗を「エコ・ストア」として登録しています。



【ホームページ】とやまエコ・ストア制度

<http://www.pref.toyama.jp/sections/1705/ecostore/index.html>

○食品ロス削減に向けた取り組み

(農林水産部 農産食品課)

・とやま食ロスゼロ作戦

消費者と事業者が力を合わせて食品ロスをかきこく減らそうという取り組みです。

特設ホームページでは、食品ロス削減のためのアイデアや、食材を使いきるためのエコレシピなど役立つ情報を掲載しています。

・3015 (さんまるいちご) 運動

「使いきり」と「食べきり」を推進するため、県民になじみの深い立山の標高にちなんだ、30と15をキーワードにした富山型の食品ロス削減運動です。

【ホームページ】とやま食ロスゼロ作戦 (食品ロス削減について)

<https://foodlosszero.jp/sitemap>



○地産地消の推進に向けた取り組み

(農林水産部 農林水産企画課)

・地産地消「とやまの旬」応援団

地産地消に取り組む企業・団体、個人に向けて、イベントや県産農林水産物等に関する情報を、メールマガジンで提供します。

・富山県産品購入ポイント制度

キャンペーン期間中に、県産品シールや県産を示すラベルを集めて応募すると、富山の特産品が当たります。

【ホームページ】越中とやま 食の王国 (地産地消について)

<https://shoku-toyama.jp/>



○6次産業化の支援

(農林水産部 農村振興課)

県内の農林漁業者の所得向上や地域の活性化を図るため、6次産業化の取り組みを支援します。

・6次産業化サポートセンターによる相談対応

・とやま6次産業化セミナーの開催

・県内の6次産業化の取り組み紹介や、農家レストラン・観光農園の情報発信 等

【ホームページ】とやまの農家レストラン・観光農園(グリーンツーリズムとやま)

<http://gt-toyama.net/rest-plants>

※6次産業化とは…農林漁業者が生産に加えて加工や販売なども行い、農林水産物の高付加価値化を図ること。

